



河北中だより

第 11 号 令和7年 2月 28日 校長 鈴木 正直

春は、すぐそこまできています。お正月に決意した、あの新しい気持ちを持ち続けていますか。毎朝、寒い中を前を向いて登校する姿にたくましさを感じます。毎日の学校生活では、いろいろなことが起こります。楽しいこともあります。そればかりではありません。苦しいこと、悲しいこともあります。夕刻の吹雪の中を「まっ明日があるさ」とまた前を向いて下校する姿に、歌いながら帰っていく姿に「んだんだ。それで、いいんだ！また明日な」とエールを送っています。みなさんの心に届いているでしょうか。どんなことがあっても、新しい朝はきます。明けない夜はありません。「悲しく嫌なことのマイナスの思いは引きずらず、いいことのプラスを思い信じて、今日も、自分らしく、仲間と一緒に生きていきましょう。

ありがとうの花を咲かせよう！ 思いを形にして 感謝 で締めくくろう！

第8節です。最終節になりました。1年間の生活と学習の成長をまとめる時です。

テーマは「感謝で締めくくろう！」それは、たくさんの「ありがとう」に気づき、考え、行動するということです。私たちは多くの誰かに支えられて生きています。そして、誰かの支えとなって誰かを生かしています。これは、当たり前のことではなく、有り難いことであり、そこで成長させてもらってきたのです。ですから卒業までの間に「ありがとう」の感謝の思いを、言葉や姿で伝え合い、さらに絆を強くしていきましょう。あたたかい関係は青春を、人生を豊かにしていきます。あらゆる所にできるだけ多くのありがとうの花を咲かせましょう。

「行為の意味」 宮澤章二

-----あなたの「こころ」はどんな形ですか
と ひとに聞かれても答えようがない
自分にも他人にも「こころ」は見えない
けれど ほんとうに見えないのであろうか

たしかに「こころ」はだれにも見えない
けれど「こころづかい」は 見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の「思い」は見えない
けれど「思いやり」は だれにでも見える
それも人に対する積極的な行為だから

あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが やさしい行為になるとき
「心」も「思い」も 初めて美しく生き
-----それは 人が人として生きることだ



「思いやりの気持ちを持っていても、行動に移すことはなかなか難しいものです。しかし、その美しい気持ちは、行為になってこそ、初めて意味があるということに気づいてもらいたい。」
詩人宮澤章二さんは、この詩に込められたメッセージをきっかけにして、すべての人が持っているやさしい気持ちが、たくさんのあたたかい行為となって世の中に生まれてほしいと願ったのです。

谷地高生の「遠嶺学習発表会」表現力に さすが !!



谷地高校の「総合的な探究の時間（遠嶺タイム）」の発表会を、2月14日（金）に開催しました。遠嶺（とおみね）タイムでは、探究的なものの見方・考え方により、広く情報を収集・分析して、自己のあり方・生き方や進路と関連した課題を自ら設定し、問題解決ができる資質・能力を身につけることをねらいとしています。この日は9名の谷地高生が来校し、①「自作アイススラシャーにおけるざらつき感の原因を探る」 ②「地域元気高齢者のサルコペニア・フレイルの現状と課題」 ③「知ってる？河北イタリア野菜」 ④「命を守る鍵になる！ハザードマップ」をテーマにした調査研究を、詳しくわかりやすく発表しました。さすが谷地高生！学びの質の高まりを感じました。参加した2年生は、レベルの高い発表を興味深く、感心して見聞きしていました。たくさんの質問と感想が寄せられ、素晴らしい学びの交流ができました。これからの学習に生かしていきます。

河北中生の活躍

- 丸山薫 青い黑板賞（最優秀賞） 松田滯奈（1）
※丸山薫さんは、現代詩の四季派を代表する詩人です。終戦を挟み西川町岩根沢地区で教員生活を送りながら詩作を続け、この地域を舞台にした「青い黑板」等の詩集を出しました。
- 男子卓球部 団体 優勝 河北オープン
- 男子卓球部 個人 大阪オープン
3回戦 布川創大（1） 2回戦 早坂翔真（1）
- 男子バレーボール部 第3位 西村山協会長杯
- コンピュータ部：P検 アプリ 準2級 沼澤香乃（2）
3級 鹿野栄心（1） 4級 工藤 蓮（2）

海 松田 滯奈

海は「私」を思い出させる

それは 目を奪われるようなこと
胃を掴まれるようなこと
好きで仕方のないこと
ここから生命が始まったこと

滯を示す「標」のように
私は生きていけるだろうか

私に応えるように
海はすべてを掻き消していった

各学年ごとに 有終の美を！

- 3年生は、進路実現に向けて、自信を持って全力投球！ そして、新しい世界へ飛躍！**
- 2年生は、最高学年になる自覚を持ち、自分に厳しく！ そして、新しい自分の発見！**
- 1年生は、中学生生活の充実のため、しなければならないことの遂行！ そして、今の自分への挑戦！**

自分の人生は、自分で切り拓くものです。動かずして、チャンスはつかめません。自己実現に向けて、明るく、できるだけ機嫌よく！ 不機嫌は、感染しやすいのでご注意ください。
※ドイツの文豪ゲーテの言葉にドキッ！

私は、その通りだと思いました。

人間の最大の罪は 不機嫌である！

「形は心」です 「形」とは 言葉であり 行動であり 姿です

形は心。私たちはみなさんの「心の形」に、何度も感動させられてきました。

早いもので、卒業式（3月14日：金）まで14日、登校日数は10回となりました。希望の春は間違いなく近づいてきました。この1年の出来事、そのすべてを乗り越え、成長し、今を精一杯生きています。多くのことを学びました。学校とは、そういうところ。その出来事から価値を学び、社会性を学び、青春の生き方を学んできたのです。これからも、ここで出会い、互いに成長してきた仲間と友情でつながって、思い描く未来へ一緒に歩いていきましょう。私たちも出会えたことに心から感謝しています。先生たちはこれからも、みなさんをずっと応援していきます。